

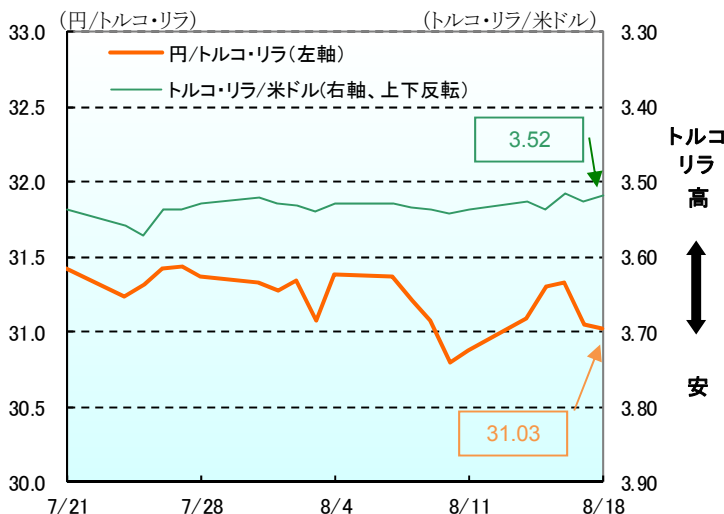
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年8月12日～2017年8月18日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通してみると対米ドル、対円で上昇しました。またトルコの2年国債金利については、小幅な金利低下となりました。北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が米国領であるグアムへのミサイル発射を当面見送る姿勢を見せたことから、米国と北朝鮮の間で高まっていた緊張が緩和に向かいました。投資家のリスクセンチメントが改善したことから、トルコ・リラは対米ドル、対円で上昇し、トルコの2年国債金利は小幅に低下しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年7月21日～2017年8月18日)



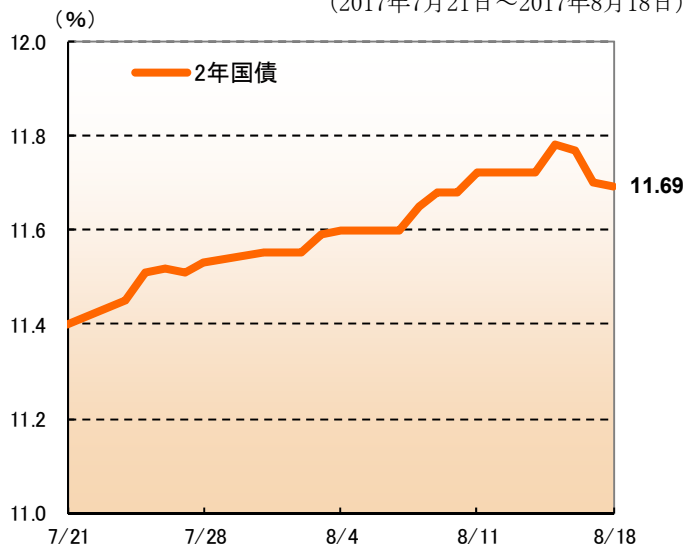
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、月曜日、火曜日に国債の入札が予定されています。米国と北朝鮮の緊張の緩和など地政学リスクに対する懸念が後退している中、入札でトルコ国債への旺盛な需要が確認できれば、金利は低下しやすいと想定します。また、米ジャクソンホールで経済シンポジウムの開催が予定されており、イエレン議長やドラギ総裁の発言に注目が集まりやすいと考えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年7月21日～2017年8月18日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>